

竜丘地域自治会 一年間を振り返って

～各委員会総括～



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

竜丘地域自治会

会長 熊谷 和美

竜丘地区基本構想ができてから二年目の活動に入り、役員全員が交代し、右往左往しながら皆様方のご協力により一年が経過しましたが、これでよかったのかどうか、振り返って考えているところです。

太陽光発電も昨年四月に順調に稼動を始めたほか、環境事業では良好な景観づくりとしてのガーデニングの取り組みや、市環境美化重点区域に指定された、鷺流峡復活プロジェクトの立ち上げ、放置竹林の伐採も皆様の協力により完了し、今後は維持管理が課題となります。また、来年度は保育園の芝生化を試験的に進めたいと考えています。

その他、地区内の道路問題も信号新設等、具体的改善が行われました。

二十八年度も基本構想を地域自治会における活動方針として、農・工・商・観光等様々の振興に地域ぐるみで取り組み、

多くの皆さんが暮らしやすい地域づくりを行ってまいります。皆様のご意見等をお聞きしながら、各種事業を推進していききたいと考えています。ご協力をよろしくお願いいたします。



鷺流峡復活プロジェクトによる作業

地域振興委員会

委員長 前澤 正信

鷺流峡の地が明るくなり、環境委員さん等を中心にガードレールを磨いていただき、その後急傾斜に茂っていた竹やぶが天竜川の流れを眺めることがでけるまで整備されました。ほつき線を通るドライブバーがその変貌ぶりに目を見張っております。こんな行動の発想は、長野原留春さんのひとつの行動からでした。何年後かには花桃が咲き始めます。市花「ミツバツジ」も一杯に咲かせ、おいしいお酒をいっばいいただきましょう。鷺流峡を飯田市の誇りある手づくりの名勝地にしましょう！その第一歩がみんなの力で踏み出されました。

安全委員会

委員長 小池 敬二

昨年三月の人事で委員長という大役を受けることとなり、実際に自分でやれるのか、委員のみなさんどう

人口	6,943人
男子	3,370人
女子	3,573人
世帯数	2,527戸
(28年2月末現在)	

のように協力していけばいいの不安な状況でスタートしました。始まってすぐに交通安全運動が実施されましたが、会議もスムーズにでき、委員の分担等もみなさんに協力をいただきながら慣れていきました。また、勤務先も協力をいただき、事業を順調に進めることができました。大変感謝しております。新しい信号や「ゾーン30」の本格利用が始まりました。来年度もがんばってまいります。

福祉健康委員会

委員長 宮澤 聖

委員会全員協力の下に竜丘本会事業と五地区の活動が予定通り実施できたと思います。新規事業として乗合タクシーの看板設置等利用促進を掲げました。マップ他チラシを配布しましたが、反省として停留所がわかりづらいとのことでした。この件については、五地区それぞれに工夫していただくようになっております。また、残念ながら各地区委員の体験乗車が少なかったため、次年度も実施していきます。さらに、地区内買い物支援事業について、すでに一部で活動されているものの、次年度の研究課題となっています。

環境委員会

委員長 酒井 公

環境美化の取り組みに対する区民の皆様の日頃のご協力に感謝します。各地区の環境委員も、どの事業も初めてで大変だったかと思

います、ご苦勞様でした。皆様のご協力で一年を乗り切ることができました。今年度の評価・反省を活かし、来年度は効率的でより有効な事業を実施していきたいと思ひます。来年度も区民並びに委員の皆様を引き続きのご協力をお願いします。

公民館長

下平 勝照

一年、又一年の積み重ね。良い物は残り、伝統・文化となつてゆく。◎記憶に残ること「丘のみちしるべ」改訂ふるさと教材として各戸配布。作成に携わり、探求した方が語る学習会を開催したことで、人も育つこと。

「丘の古墳の案内書」完成市教育委員会が飯田古墳群を国の史跡指定となるよう申請した。十三基のうち六基が竜丘に現存するものである。地権者、地域の皆さんのご理解とご協力、また、玄人裸足の知識人の皆さんの、保存・原風景を守る熱い気持ちが実りつつある。

「自由(画)教育」に関して自由画・学校沿革絵図原画を保存していく目途が立ち、今後レプリカ等併用啓発しながら、保存顕彰・資料館建設に向け基礎ができたこと。

「郷土出身者からの贈り物」桐林出身の型絵染色作家下平清人氏から、ふるさと桐林の山野草をモチーフに型絵染屏風「春夏秋冬」が寄贈されたこと。

◎天候に左右された一年であつた。運動会中止、水辺の楽校イベント判断に迷うが、どうにか実施。文化祭二日目が雨、ニユーイヤークンサートは降雪、雪かきに少年野球の皆さんに協力いた

体育委員会

委員長 久保田昭仁

地域住民がスポーツ活動を通じ、親睦交流を図る場として、夏季スポーツ大会市民運動会、冬季スポーツフェスティバルを企画、開催して参りました。残念ながら、今年度は運動会が雨天中止となりまして、各分館を中心に関係される皆様方には選手集め練習等精力的に取り組んでいただき、感謝申し上げます。

是非、来年度に繋がりますよう、今後ともご協力お願いいたします。一年間ありがとうございました。

文化委員会

委員長 木下 義博

一年間を通し文化活動にご協力いただき、ありがとうございました。私は常々、この様な活動は「草刈りと似ている」と考えています。下を見て作業している時は気付かないけれど、振り返ると草が刈れている。遠くから見ると綺麗になっているのがわかり、数年間続けると、きちんと手入れされているのが皆にもわかる。手を抜くと数年で数になる。これからも代々続く文化活動にご協力をお願いします。

広報委員会

委員長 宮島 剛

皆様のご協力により館報を年六回発行することができました。タイムリーな情報掲載に努めてきましたが、いかがだったでしょうか？地域の記録を残す館報の役割としては、報告記事が多くなってしまうのは仕方ないところですが、今後は地域の課題や将来について語っていただくことができる紙面づくりも大切であると考えています。日頃思っていること、竜丘の将来など、どんなことでもよいので、自由なご意見をお寄せください。

育成委員会

委員長 関島 隆夫

育成委員会では、地域の歴史を学び、文化遺産に触れ「ふるさと竜丘の特色を活かし、たくましさと思ひやりの心を育む」を子育て像に据えて、小学校はにわ作り支援、第八回竜丘古墳まつり、水辺の楽校、あいさつ運動、青少年クラブ支援事業等に取り組みました。多くの団体や地域の方のご協力により盛大に実施できました。お礼を申し上げます。初めての委員が多く、水辺の楽校の草刈りに孤軍奮闘したことが強く印象に残っております。モア(草刈機)の運転が上手になりました。

今年も春を告げる祭り、時又初午はだか祭りが開催されました。はだか祭りと言えば三月上旬の開催で、雪が舞ったり、肌寒かったりと、割と天気の悪いイメージがあります。今年「暖冬」という天気予報のとおり、年末年始はとて暖かく穏やかな新年を迎えることができました。しかし、二月下旬あたりから十年ぶりの雨水現象や寒暖の差が激しくなり、天候も目まぐるしく変化しました。そのせいか、いつもなら下火になっているはずのインフルエンザが遅れて大流行！高校入試、卒業式を控えていた我が家はインフルエンザにかからないよう、最善の注意を払って過ごしました。

民俗資料保存委員会

委員長 宮嶋 聰子

七月、民俗資料館の清掃と保存資料の虫干しを行いました。自由画保存顕彰委員会への協力で原本の保存作業を行い、今後への維持保存に努めました。学校沿革史のレプリカ完成に伴い文化祭での展示が行われ、当時の関係資料を展示、多くの皆様にご覧いただきました。これからも資料・保存収集・維持管理に努めていきたいと思ひます。

市教育功勞者表彰

～長年の活動ありがとうございました～

- 大平 誠 駄科
- 小市 雅子(時 又)
- 齋藤 浩(長野原)
- 中島かおり(長野原)

二月二十一日に行われた飯田市公民館大会において、長年公民館活動に尽力された方に対する市教育功勞者の表彰が行われ、竜丘地区では以下のみなさんが表彰されました。(敬称略)

「やつとか」と思う反面、とてもありがたく感じるとともに、この取り組みが少子化対策の一助となり、まさに「安心して健やかに暮らせるまち竜丘」になることを期待します。

ヤフ収

今年も春を告げる祭り、時又初午はだか祭りが開催されました。はだか祭りと言えば三月上旬の開催で、雪が舞ったり、肌寒かったりと、割と天気の悪いイメージがあります。

今年「暖冬」という天気予報のとおり、年末年始はとて暖かく穏やかな新年を迎えることができました。しかし、二月下旬あたりから十年ぶりの雨水現象や寒暖の差が激しくなり、天候も目まぐるしく変化しました。そのせいか、いつもなら下火になっているはずのインフルエンザが遅れて大流行！高校入試、卒業式を控えていた我が家はインフルエンザにかからないよう、最善の注意を払って過ごしました。

「KOMINKAN」から改めて学ぶ「公民館」

JICA レガスピ市訪問



改めて
学んだこと
時又 今村 明人

JICA草の根技術協力事業による、竜丘をはじめとする飯田市の公民館活動を参考に地域づくりを進めているフィリピンのレガスピ市を、一月三十一日から七日間、飯田市の代表団が訪問、竜丘からも二名の方が訪問しました。

JICA（ジャイカ）の事業により、フィリピンの地味いききと暮らしている住民の姿を見て、竜丘の自治や公民館活動が参考になっていることを誇りに思いました。

プロ村での水道施設事業は、維持管理の仕組みづくりを通じて、住民の意識が変わってきて、少しでも暮らしやすい地域を作り上げていこうという熱気を感じました。

私達訪問団のために、住民による村を挙げての歓迎行事には驚きました。感謝の気持ち痛みほど伝わってきました。

三度目となるレガスピ市訪問は、大きな期待で胸がふくらみました。最初のJICA援助で関わった、水道が完成したプロ村は、シブマという組織がしっかりと活動をしていて、資源の活用、規範と飯田での学びが根付いていることに感心しました。委員は誇りを持って活動をし、住民の信頼も厚く、

人が育てば
地域も育つ
桐林 宮嶋 聡子

寺所蔵戦没者名簿の詳細について調査したものを展示発表しました。戦後七十年過ぎた今年、分館役員が手分けして戦没者名簿の調査に当たる中で、桐林でも戦争体験者が非常に少なく

火山噴火による避難住民が暮らすタイサン再定住地区では、新井原の集会所を参考に完成した「KOMINKAN」で多彩な活動が始まっています。

私達は今、完成された仕組みの中で、プログラムをこなすことに慣れてしまっています。様々な要望や課題をどうやって解決していくか。現地の人々から改めて教えられた気がしました。また、高齢化の今、一人になることだってあるかもしれない。そんな中で、地域で暮らすことや、周りの人々と関わり、助けあうことが、いかに大切



協力関係ができていました。昨年公民館が完成したタイサン村は公民館を拠点に出会い、話し合い、解決一をモットーに住民自ら課題を見つけ、解決しており、ここでも飯田での学びが活かされています。竜丘の支え合いマップのように地域の地図を作り、そこから課題を見つけ、解決していく方法は、良い成果を生み出していました。自分たちのみならず、貧困者・弱者への援助もできるようになり、

温かさが会場いっぱい広がる
「ニューイヤークンサート」

前日からの雪が積もった一月二十四日に恒例のニューイヤークンサートが行われました。開会あいさつでは下平館長から「この寒さの中で温かさを感じていただきたい。」との後、♪年の始めのためしとてく♪と美声が披露されました。

まずは時又保育園の年長さんによるマーチングバンド。少し緊張した表情ながらも元気の良い演奏と振り付けに感激しました。次に登場は食生活改善協議会によるトーンチャイム。ベルの透き通った音色が響きました。岳風会の詩吟は詩にあわせての書筆も披露されました。

住民組織に加入することで、課題を解決し、地域貢献ができるの答に驚きました。バンケロハン・フマポン村は発足間もない地区ですが、組織のメンバーとなり、活動する意識に燃えています。市の職員と地区のリーダーで構成するTWGの方達も飯田での学びを活かし、住民と行政を結ぶ役割の活動に熱い想いが感じられ、今更ながら、人が育てば地域も育つを学ばせていただきました。



はじめての「駄科音頭」披露

平成27年度 竜丘地域自治会会計 決算

【収入】 (単位: 円)				
委員会	事業項目	予算額	決算額	比較
1 地域自治会	地域自治会	35,105,000	36,507,296	△ 1,402,296
	1 会費収入	15,300,000	15,710,000	△ 410,000
	2 パワーアップ交付金A	6,117,000	6,117,000	0
	3 交付金B	2,899,800	2,926,814	△ 27,014
	4 その他 交付金及び補助金(交付金C)	1,968,842	2,296,135	△ 327,293
	5 太陽光発電売電収入	97,000	100,000	△ 3,000
	6 使用料	200,000	252,612	△ 52,612
	7 繰越金	8,321,392	8,321,392	0
	10 預金利息	966	1,492	△ 526
	11 雑収入	200,000	781,851	△ 581,851
	収入合計	35,105,000	36,507,296	△ 1,402,296
【支出】 (単位: 円)				
委員会	事業項目	予算額	決算額	比較
1 区長会	区長会	11,990,000	11,170,047	819,953
	1 総務費	8,933,000	8,486,417	446,583
	1 報酬	3,540,000	3,475,000	65,000
	2 賃金	368,000	317,042	50,958
	3 手当	1,700,000	1,647,200	52,800
	4 報償費	240,000	240,000	0
	5 旅費	100,000	52,975	47,025
	6 交際費	204,000	158,500	45,500
	7 会議費	783,000	659,955	123,045
	8 消耗品費	950,000	1,087,993	△ 137,993
	9 燃料費	8,000	0	8,000
	10 印刷製本費	40,000	6,264	33,736
	12 修繕料	150,000	137,774	12,226
	13 通信運搬費	90,000	82,219	7,781
	14 手数料	20,000	14,268	5,732

委員会	事業項目	予算額	決算額	比較	説明
1 地区委員会	15 保険料	240,000	233,310	6,690	自治会総合保険
	16 貸借料及び使用料	300,000	179,897	120,103	コピー機使用料 プリンター保守料 ほか
	17 備品購入費	70,000	18,000	52,000	
	18 雑費	130,000	176,020	△ 46,020	イベント謝礼 ほか
	2 事業費	3,057,000	2,683,630	373,370	
	2 基本構想プロジェクト事業活動推進費	100,000	100,000	0	グループ活動費助成
	4 クリーンセンター後利用検討会議	120,000	21,790	98,210	会議費 ほか
	5 自主防・消防団助成事業	2,450,000	2,450,000	0	自主防災会 750,000円 消防団 1,700,000円
	6 緑ヶ丘中学校生徒指導補助事業	150,000	111,840	38,160	
	10 住民自治フォーラム開催事業	148,000	0	148,000	
	11 地域協議会委員研修事業	89,000	0	89,000	
2 地域振興委員会		5,790,000	4,922,411	867,589	
3 安全委員会		2,040,000	2,034,066	5,934	
4 福祉健康委員会		2,979,000	2,875,430	103,570	
5 環境委員会		1,273,000	1,163,283	109,717	
6 公民館		5,551,000	5,397,938	153,062	
7 特別委員会		710,000	996,297	△ 286,297	
	1 竜丘古墳の会	460,000	612,557	△ 152,557	
	2 自由画保存顕彰委員会	250,000	383,740	△ 133,740	
8 予備費		4,472,000	26,050	4,445,950	緑ヶ丘中学校懸垂補助成
9 積立金		300,000	300,000	0	安全委員会 100,000円 環境委員会 200,000円
	支出合計	35,105,000	28,885,522	6,219,478	

残高 7,621,774

ふれ合いの場 桐林文化祭盛大に開催

桐林分館 牧内 鉦治

多くの桐林区民のお力添えを得まして、一月三十一日(日)、桐林分館の文化祭を開催しました。

■二階大ホールでは小学生・園児・区民の熱のこもった作品を展示。

- ① イベントコーナーでは野楽路のソバの振舞
- ② 文化女子部の豚汁
- ③ 喫茶コーナー

と、盛り沢山の出し物で楽しく、大変盛り上りました。■分館独自の活動として「専養寺」の歴史調査と、専養

寺所蔵戦没者名簿の詳細について調査したものを展示発表しました。戦後七十年過ぎた今年、分館役員が手分けして戦没者名簿の調査に当たる中で、桐林でも戦争体験者が非常に少なく



恒例の宝投げ

高校生が初午はだか祭りを体験 市公民館高校生講座

市公民館が行う「高校生講座 カンボジアスタディツアー」事業で、今年度はカンボジアに行くにあたって、飯田の文化や生活や風土を学ぶため「山、里、街」の三グループに分かれての事前学習が行われました。

その中の「里」グループは、竜丘地区の文化の学習の一環として、時又初午はだか祭りに準備段階から参加しました。

一回目は、時又港から長石寺までを散策しながら、元時又区長の木下さんから時又港や長石寺の歴史を中心に話を聞きました。二回目は、はだか祭り保存会長の伊原さんや保存会役員

の方々と、お祭りにかける思いを聞きました。三回目以降は、実際に神輿の修復作業やグッツの作成を手伝い、大勢の人が携わって手作りのお祭りが作り上げられていくことに感動を覚えつつ、楽しく作業を行いました。さらに、お祭り一週間前、お祭りの大將たちが実際に天竜川へ入り、祭りの安全を確保していることを学んでいました。

お祭り当日は、雨こそ降るなか、お祭りにかける思いが、勇ましい神輿そして「御水」の掛け声とともに練り歩き、地域の伝統文化を肌で感じ、学びました。



幣束を持ち練り歩く高校生